

豊島区の将来人口推計（中間報告）

平成 27 年 6 月

豊島区

豊島区の将来人口推計（中間報告）

1 人口推計手法	1
(1) 推計期間	1
(2) 推計アウトプット	1
(3) 推計方法	2
(4) 推計手順	4
① 基準人口	4
② 生残率（死亡率）	4
③ 出生率	4
④ 社会移動率（大規模開発を除く）	5
⑤ 大規模開発に伴う人口増加（特定整備路線を含む）	5
⑥ 外国人比率	8
(5) 推計パターン	9
2 人口推計結果	10
(1) 豊島区計	10
① 人口（計）	10
② 年齢3区分別比率	11

1 人口推計手法

(1) 推計期間

推計期間は2015年(平成27年)2月1日を基準とし、推計の最終年はまち・ひと・しごと創生に係る人口ビジョン策定のため2060年(平成72年)2月1日までを推計した。

(2) 推計アウトプット

推計アウトプットは、小学校区ごとの男女計及び男女別の1歳別人口及びそれを整理した5歳別人口と区全体の1歳別人口及び5歳別人口とした。

なお、本報告書においては、5歳別人口までを掲載している。

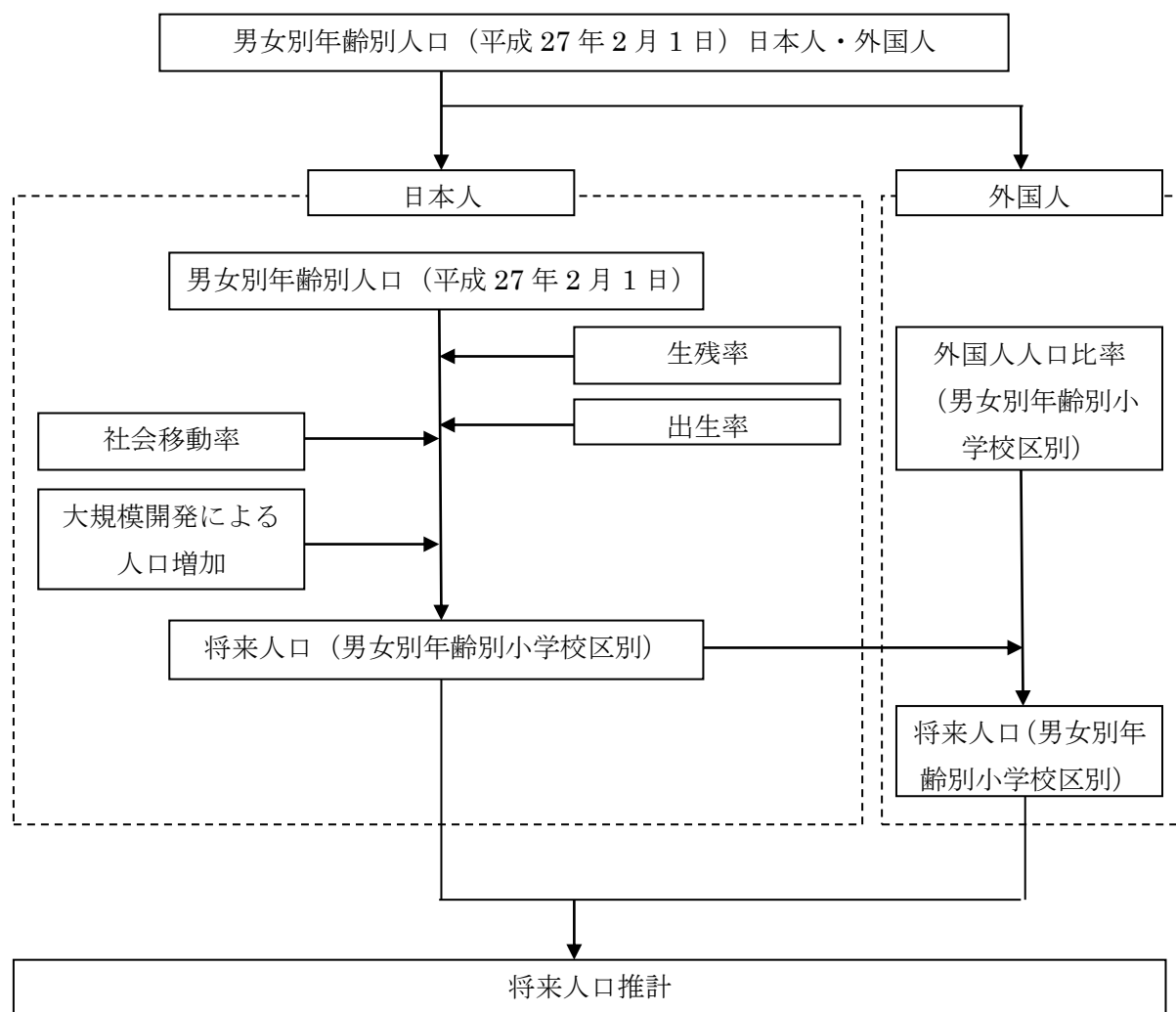
(3) 推計方法

推計は、日本人・外国人別とし、小学校区単位ごとに行った。

日本人人口については、小学校区別男女別 1 歳別についてコーホート要因法により将来推計を行った。

外国人人口については、過去データによる推計が困難なことや、推計を行うには小学校区ごとの母数が少ないことことから、日本人人口を基準として推計した。具体的には、地域において将来にわたって一定の外国人比率で外国人が居住していることとし、2012 年（平成 24 年）から 2015 年（平成 27 年）の小学校区男女別年齢別外国人比率の平均を使用した。

【将来人口推計の流れ】

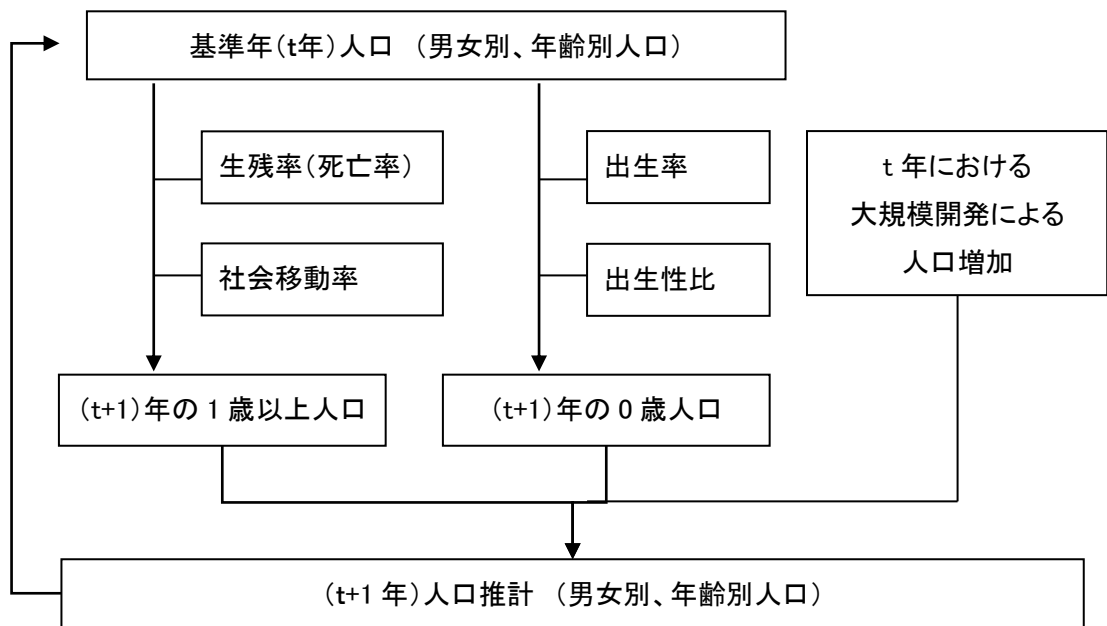


※コーホート要因法

コーホートとは、同年（同期間）に出生した集団を指し、その集団ごとの時間変化を軸に人口の変化を捉える方法。

コーホート要因法とは、コーホートの変化分を自然増減（死亡数・出生数）と純移動（転出入）に分離し、2つの人口変動要因それぞれの将来値を仮定し、推計する方法。

【コーホート要因法による推計手順図】



(4) 推計手順

① 基準人口

2015年(平成27年)2月1日現在の住民基本台帳人口(日本人・外国人別)を使用した。

② 生残率(死亡率)

日本人については、最新の生命表を用いて将来にわたり一定の生残率と設定した。

資料は、厚生労働省の豊島区生命表による2010年(平成22年)現在死亡率(5歳別)を基本とし、5歳の内訳については、東京都生命表による死亡率の比率に準じて、豊島区の1歳別死亡率を推計し、生残率を設定した。

■厚生労働省豊島区生命表および東京都生命表を基に算出した生残率

	男性	女性		男性	女性		男性	女性		男性	女性		男性	女性
0歳	0.9985	0.9981	21歳	0.9997	0.9994	42歳	0.9990	0.9992	63歳	0.9875	0.9955	84歳	0.9206	0.9573
1歳	0.9998	0.9998	22歳	0.9996	0.9994	43歳	0.9989	0.9991	64歳	0.9863	0.9952	85歳	0.9054	0.9562
2歳	0.9998	0.9999	23歳	0.9996	0.9994	44歳	0.9988	0.9991	65歳	0.9845	0.9942	86歳	0.8942	0.9499
3歳	0.9999	0.9999	24歳	0.9996	0.9994	45歳	0.9982	0.9988	66歳	0.9830	0.9937	87歳	0.8823	0.9431
4歳	0.9999	0.9999	25歳	0.9995	0.9996	46歳	0.9980	0.9988	67歳	0.9815	0.9932	88歳	0.8696	0.9362
5歳	0.9999	0.9999	26歳	0.9995	0.9996	47歳	0.9978	0.9986	68歳	0.9799	0.9926	89歳	0.8559	0.9290
6歳	0.9999	0.9999	27歳	0.9995	0.9996	48歳	0.9976	0.9984	69歳	0.9781	0.9919	90歳	0.8487	0.8972
7歳	1.0000	0.9999	28歳	0.9995	0.9996	49歳	0.9974	0.9982	70歳	0.9794	0.9913	91歳	0.8347	0.8835
8歳	0.9999	0.9999	29歳	0.9995	0.9996	50歳	0.9972	0.9984	71歳	0.9775	0.9904	92歳	0.8200	0.8673
9歳	0.9999	0.9999	30歳	0.9995	0.9998	51歳	0.9969	0.9982	72歳	0.9754	0.9894	93歳	0.8048	0.8483
10歳	0.9999	1.0000	31歳	0.9995	0.9998	52歳	0.9965	0.9980	73歳	0.9731	0.9881	94歳	0.7896	0.8269
11歳	0.9999	1.0000	32歳	0.9994	0.9997	53歳	0.9961	0.9978	74歳	0.9705	0.9866	95歳	0.7516	0.8147
12歳	0.9999	1.0000	33歳	0.9994	0.9997	54歳	0.9956	0.9977	75歳	0.9674	0.9855	96歳	0.7288	0.7942
13歳	0.9999	1.0000	34歳	0.9994	0.9997	55歳	0.9949	0.9975	76歳	0.9639	0.9835	97歳	0.7047	0.7741
14歳	0.9999	0.9999	35歳	0.9992	0.9994	56歳	0.9944	0.9974	77歳	0.9598	0.9814	98歳	0.6789	0.7544
15歳	0.9999	0.9999	36歳	0.9992	0.9994	57歳	0.9938	0.9972	78歳	0.9550	0.9789	99歳	0.6516	0.7347
16歳	0.9999	0.9999	37歳	0.9991	0.9993	58歳	0.9932	0.9970	79歳	0.9494	0.9761	100歳以上	0.0007	0.0003
17歳	0.9999	0.9999	38歳	0.9990	0.9993	59歳	0.9926	0.9968	80歳	0.9498	0.9759			
18歳	0.9999	0.9999	39歳	0.9989	0.9992	60歳	0.9903	0.9964	81歳	0.9437	0.9724			
19歳	0.9998	0.9999	40歳	0.9992	0.9993	61歳	0.9895	0.9961	82歳	0.9369	0.9682			
20歳	0.9997	0.9995	41歳	0.9991	0.9992	62歳	0.9885	0.9958	83歳	0.9292	0.9632			

③ 出生率

日本人については、2005年(平成17年)から2013年(平成25年)にかけて全体としては増加傾向となっている。特に30歳代後半から40歳代にかけての出生率が増加しており、将来においてもこれらの層の出生を見込むことを前提とし、直近である2013年(平成25年)における女性人口あたりの出生率を使用した。

出生性比については、2012年(平成24年)と2013年(平成25年)の2ヵ年の出生児の性比の平均値の男50.05%、女49.95%を使用した。

■女性人口千人対出生率（母の年齢別）

年齢	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
15～19歳	2.3	4.1	2.2	2.1	1.9	0.5	2.5	3.1	2.2
20～24歳	14.1	14.6	15.5	13.0	14.9	15.5	14.6	11.4	11.2
25～29歳	31.7	37.1	37.2	36.0	37.6	37.2	38.1	43.5	39.4
30～34歳	58.1	57.4	59.0	62.9	64.4	64.1	72.3	64.4	69.6
35～39歳	39.5	41.2	42.5	39.3	45.7	48.2	44.8	50.3	58.0
40～44歳	8.0	8.2	10.8	10.6	11.5	11.2	11.1	13.0	15.5
45～54歳	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.4	0.2	0.5	0.7
(参考) 合計特殊出生率	0.77	0.81	0.84	0.82	0.88	0.89	0.92	0.93	0.98

④ 社会移動率（大規模開発を除く）

日本人については、大規模開発の影響があった丁町目を除いて小学校区別の2012年（平成24年）から2015年（平成27年）の社会移動率を推計して使用した。

大規模開発の影響として社会移動率の算出から除外した地域は、この期間中に100戸以上の大規模な住宅の竣工があった「高田2丁目、北大塚1丁目、池袋2丁目、南池袋2丁目」である。

推計には、2012年（平成24年）から2015年（平成27年）（統計の制約により平成27年は2月1日、他の年は1月31日）の日本人住民基本台帳人口（小学校区別）から、男女別1歳別社会移動率の平均値を使用した。

なお、90歳以上の高齢者については、母数が少ない（小学校区によっては年齢別人口がゼロとなる）ことや、死亡数の変動による誤差が大きいため社会移動率の推計が困難であるため、社会移動を見込まなかった。

なお、この移動率を基準とし、移動率を変化させた推計についても行った。

※詳細は別表1参照。

⑤ 大規模開発に伴う人口増加（特定整備路線を含む）

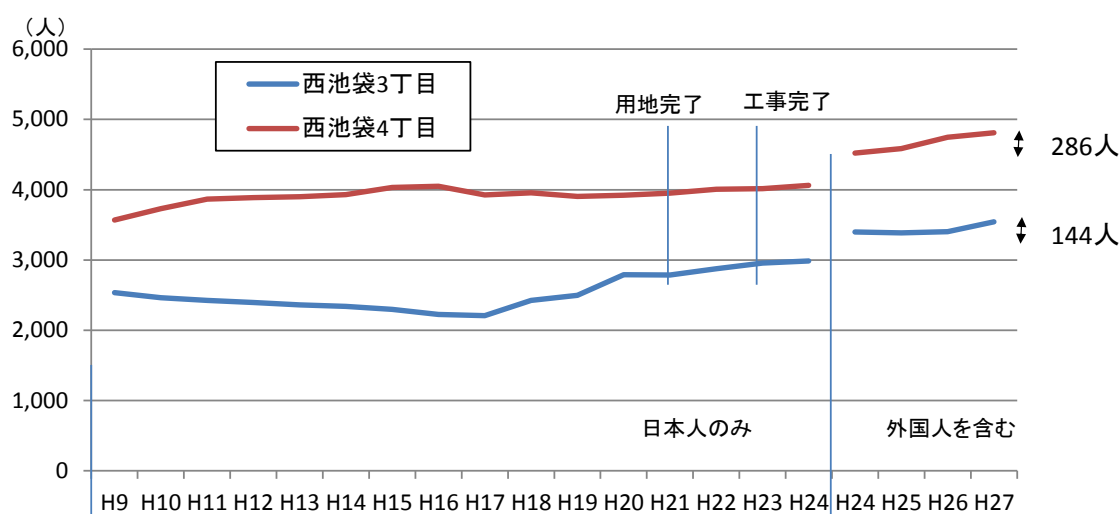
今後開発が予想される特定整備路線の路線周辺の人口増加、大規模住宅開発による人口増加の仮定値を男女別1歳別に設定し、反映した。

i) 特定整備路線

路線開発に伴う周辺人口増加については、補助172号線（西池袋3丁目・4丁目地区、延長880m）をモデルとして過去の人口増加数から、路線開発延長における周辺町名別人口増加を設定した。補助172号線（西池袋3丁目・4丁目地区）の整備によると、2011年（平成23年）に工事がほぼ完了し、2年後の2013年（平成24年）～2015年（平成27年）にかけて430人の人口増加がみられた。このことにより、整備延長1mあたり、430/880人（≒0.489人）の人口増加効果があるものとして設定した。

人口増加分の男女別年齢別人口比率については、資料の制約から、次のii)大規模住宅開発により算出した男女別年齢別人口比率にて設定した。

■補助172号線（西池袋3丁目・4丁目）整備における周辺人口増加



■特定整備路線

路線名	延長 (L) 幅員 (w)	事業着手	事業完了予定
補助26号線 (千早)	L = 460m、 w = 20m	‘25年10月	33年3月末
補助26号線 (南長崎)	L = 320m w = 20m	‘26年3月	”
補助73号線	L = 1070m w = 20～26m	‘27年1月	”
補助82号線	L = 1150m w = 15～24m	‘27年1月	”
補助172号線	L = 1620m w = 16m	‘27年1月	”
補助81号線	L = 930m w = 20m	‘27年2月	”

■特定整備路線による人口増加

路線名	路線延長	沿線地域	該当学区	人口増加想定
補助26号線 (千早)	460m	千早4丁目、要町3丁目	さくら小学校区 (100%)	225人/3ヵ年 2023年～2025年
補助26号線 (南長崎)	320m	南長崎6丁目、長崎5・6丁目	さくら小学校区 (100%)	156人/3ヵ年 2023年～2025年
補助73号線	1070m	池袋本町1・2・3・4丁目、上池袋3・4丁目	池袋本町小学校区 (70%) 池袋第一小学校区 (30%)	523人/3ヵ年 2023年～2025年
補助82号線	1150m	池袋本町1・2・3・4丁目	池袋本町小学校区 (100%)	562人/3ヵ年 2023年～2025年
補助172号線	1620m	長崎1・2・3・4・5丁目	長崎小学校区 (60%) 千早小学校 (20%) さくら小学校 (20%)	792人/3ヵ年 2023年～2025年
補助81号線	930m	巢鴨5丁目、駒込6・7丁目	朝日小学校 (40%) 駒込小学校 (60%)	454人/3ヵ年 2023年～2025年

ii) 大規模住宅開発

大規模住宅開発は、概ね 100 戸以上の住宅供給が見込まれる開発事業を抽出し、人口増加を反映した。

大規模住宅開発による想定人口増加数は、近年の大規模住宅開発における戸あたりの入居者数や、区外からの転入率を考慮し、下表の通り設定した。

また、入居者の男女別・人口別比率は、同様に大規模住宅開発におけるマンションの居住者を基準として男女別・人口比率を設定した。なお、将来の大規模住宅開発においては、竣工の翌年に人口を反映させた。

■近年の大規模住宅開発の戸数・入居者数

竣工時期	開発マンション名	住戸数 (戸)	入居者数 (人)
平成 20 年度	パークタワー池袋イーストプレイス	204	459
	シティテラス目白	293	347
平成 21 年度	グローバル ザ・フォート シティパークス	114	488
平成 22 年度	Brillia 巣鴨北山手賓館	112	565
	シティタワー池袋ウエストゲート	173	271
平成 23 年度	プラウドシティ池袋本町	785	1,877
	アウルタワー	608	806
平成 24 年度	桜プレイス	149	655
	ザ・タワーレジデンス大塚	201	466
計		2,639	5,934
	平均 2.25 人/戸、うち、区外からの転入者 73.6%		

■近年の大規模開発における入居者の男女別・年齢別人口比率（区外からの転入者）

竣工時年齢	男性	女性	竣工時年齢	男性	女性	竣工時年齢	男性	女性	竣工時年齢	男性	女性	竣工時年齢	男性	女性
出生前	0.298%	0.275%	21歳	0.366%	0.618%	43歳	0.824%	1.008%	65歳	0.275%	0.137%	87歳	0.000%	0.000%
0歳	1.603%	1.626%	22歳	0.298%	0.504%	44歳	0.985%	1.008%	66歳	0.092%	0.160%	88歳	0.023%	0.000%
1歳	1.053%	0.962%	23歳	0.435%	0.550%	45歳	1.076%	0.893%	67歳	0.137%	0.137%	89歳	0.000%	0.000%
2歳	0.893%	0.824%	24歳	0.504%	0.550%	46歳	0.801%	0.733%	68歳	0.092%	0.114%	90歳	0.000%	0.000%
3歳	0.779%	0.756%	25歳	0.847%	0.870%	47歳	0.618%	0.779%	69歳	0.206%	0.206%	91歳	0.000%	0.046%
4歳	0.458%	0.572%	26歳	0.847%	1.099%	48歳	0.527%	0.618%	70歳	0.114%	0.000%	92歳	0.023%	0.000%
5歳	0.412%	0.298%	27歳	0.916%	1.214%	49歳	0.504%	0.824%	71歳	0.069%	0.069%	93歳	0.000%	0.000%
6歳	0.229%	0.412%	28歳	1.305%	1.214%	50歳	0.343%	0.366%	72歳	0.023%	0.069%	94歳	0.000%	0.000%
7歳	0.206%	0.321%	29歳	1.466%	1.924%	51歳	0.481%	0.641%	73歳	0.069%	0.092%	95歳	0.000%	0.000%
8歳	0.252%	0.114%	30歳	1.855%	2.038%	52歳	0.618%	0.412%	74歳	0.069%	0.137%	96歳	0.000%	0.000%
9歳	0.160%	0.160%	31歳	1.557%	1.946%	53歳	0.504%	0.412%	75歳	0.046%	0.069%	97歳	0.000%	0.000%
10歳	0.160%	0.206%	32歳	1.946%	2.221%	54歳	0.389%	0.321%	76歳	0.046%	0.160%	98歳	0.000%	0.000%
11歳	0.092%	0.504%	33歳	1.969%	2.015%	55歳	0.412%	0.389%	77歳	0.023%	0.069%	99歳	0.000%	0.000%
12歳	0.275%	0.114%	34歳	1.466%	1.763%	56歳	0.298%	0.389%	78歳	0.092%	0.092%	100歳	0.000%	0.000%
13歳	0.206%	0.137%	35歳	2.381%	2.107%	57歳	0.275%	0.206%	79歳	0.046%	0.114%			
14歳	0.183%	0.298%	36歳	1.740%	1.099%	58歳	0.183%	0.252%	80歳	0.000%	0.092%			
15歳	0.252%	0.343%	37歳	1.534%	1.649%	59歳	0.275%	0.321%	81歳	0.000%	0.046%			
16歳	0.275%	0.275%	38歳	1.328%	1.649%	60歳	0.183%	0.275%	82歳	0.000%	0.092%			
17歳	0.252%	0.206%	39歳	1.214%	1.603%	61歳	0.160%	0.389%	83歳	0.000%	0.000%			
18歳	0.275%	0.275%	40歳	1.053%	1.168%	62歳	0.183%	0.275%	84歳	0.023%	0.046%			
19歳	0.343%	0.321%	41歳	1.008%	1.099%	63歳	0.046%	0.252%	85歳	0.000%	0.023%			
20歳	0.366%	0.389%	42歳	1.282%	1.214%	64歳	0.183%	0.092%	86歳	0.000%	0.000%			

※竣工時の年齢であるため、翌年の人口に反映させる場合は全て+1歳として反映した。

⑥ 外国人比率

外国人については、小学校区ごとの人口（男女別年齢別）に対する外国人比率により算出した。

比率については、2012年（平成24年）から2015年（平成27年）の小学校区男女別年齢別外国人比率の平均とした。

※詳細は別表2参照。

(5) 推計パターン

以上の推計手法により算出された将来人口に加え、社会移動率を次の通り変化させて高位、低位、中位の3つのパターンによる推計を行った。

	社会移動率
パターン1 (高位)	算出された社会移動率をそのまま使用 (将来にわたって一律)
パターン2 (低位)	国立社会保障・人口問題研究所の推計方法を参考に設定 2015年(平成27年)の移動率は0.7倍、 2016年(平成28年)～2019年(平成31年)は0.5倍まで定率に縮小、(2016=0.65、2017=0.60、2018=0.55、2019=0.50) 2020年(平成32年)以降は0.5倍にて推移 ※国立社会保障・人口問題研究所では国勢調査結果から将来人口を推計
パターン3 (中位)	東京都の推計方法を参考に設定 移動率を0.8倍で一定とする ※東京都では常住人口の推計値(国勢調査を基準に住民基本台帳上の人口移動を加味)から将来人口を推計

2 人口推計結果

(1) 豊島区計

豊島区計については、各小学校区別の人口推計結果を合算することにより算出し、3パターン1の推計結果は次の通りとなった。

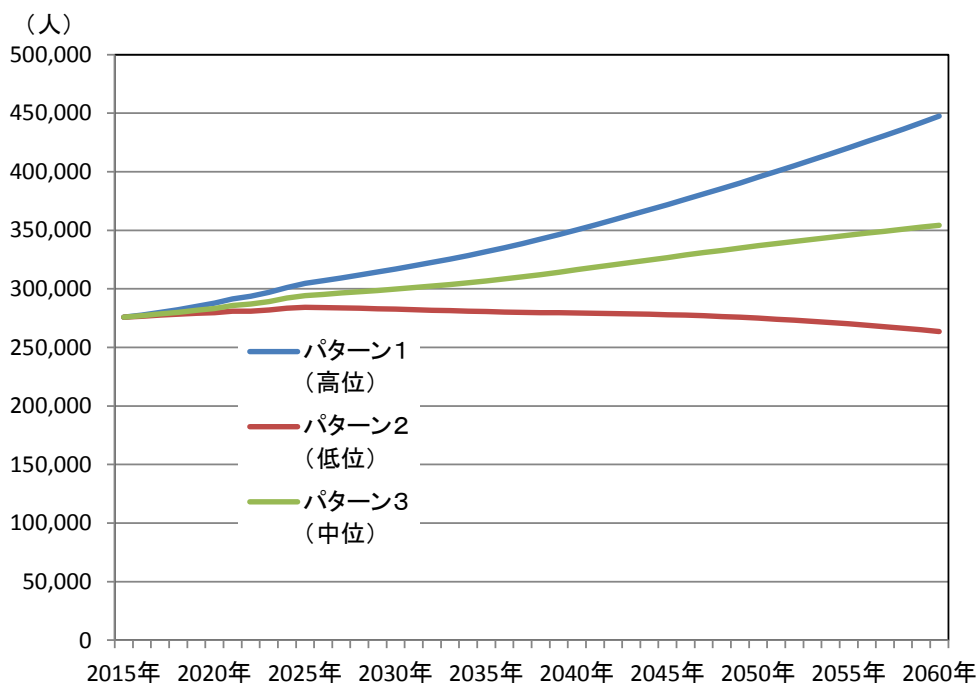
パターン1（高位）とパターン3（中位）は人口増加となり、特にパターン1（高位）においての人口増加が著しい。パターン2（低位）については、人口増加後減少に転じ（2025年ピーク）、2060年には現状よりもやや人口が減少する結果となった。

年齢構成について着目すると、パターン1（高位）では、ほぼ現状どおりの年齢構成比で推移するが、パターン2（低位）とパターン3（中位）では高齢化が進展する結果となった。

推計結果詳細については、別表3を参照。

	人口傾向	2060年人口（人）	年齢構成
パターン1（高位）	大きく増加	447,460	ほぼ現状どおり
パターン2（低位）	増加後減少	263,512	高齢化が進む
パターン3（中位）	増加	354,295	少し高齢化が進む

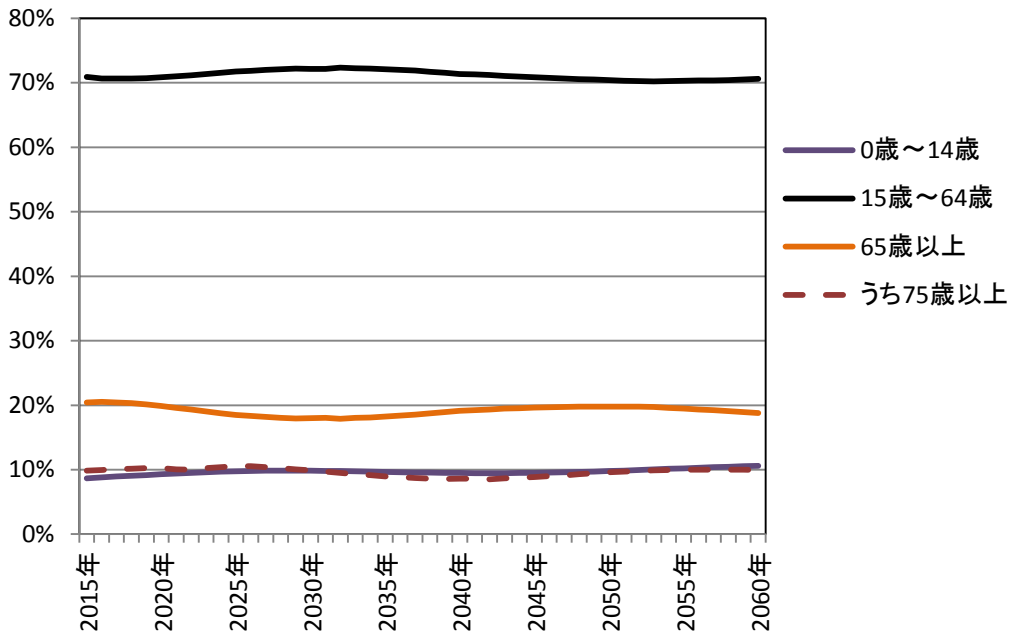
① 人口（計）



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2060年
パターン1(高位)	275,828	287,749	304,588	317,012	331,708	350,426	447,460
パターン2(低位)	275,828	279,622	284,262	282,595	280,582	279,356	263,512
パターン3(中位)	275,828	283,311	294,153	299,826	306,811	316,340	354,295

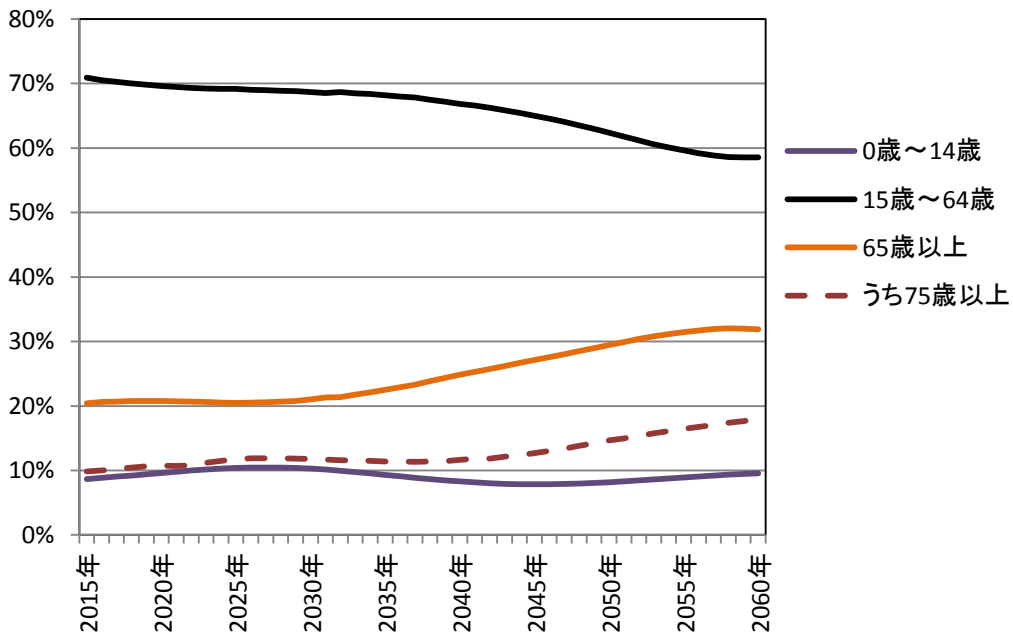
② 年齢3区分別比率

パターン1 (高位)



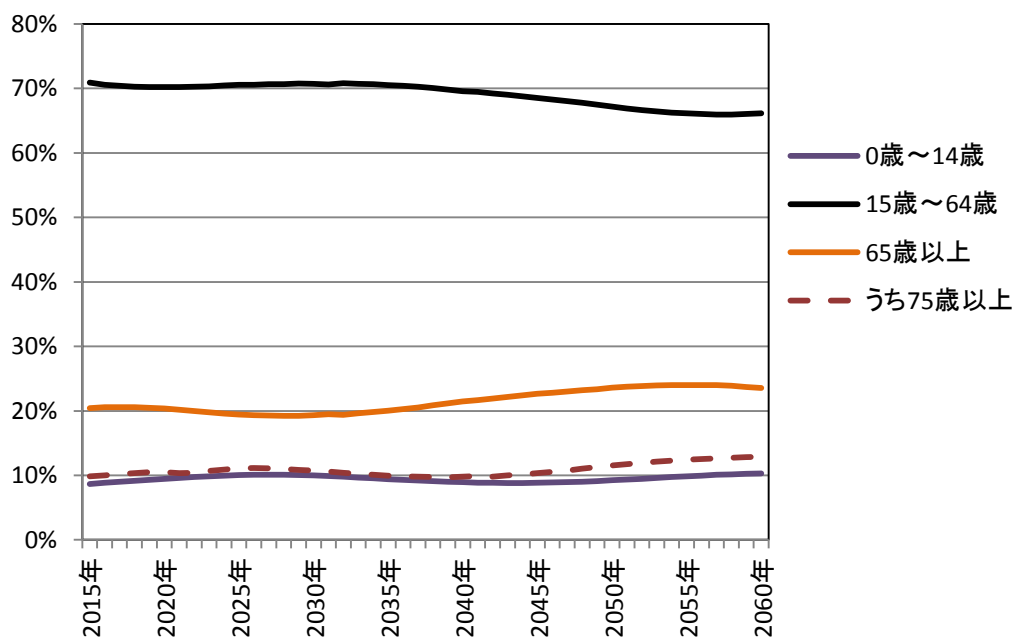
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2060年
0歳～14歳	8.7%	9.3%	9.8%	9.8%	9.6%	9.5%	10.6%
15歳～64歳	70.9%	70.8%	71.7%	72.2%	72.1%	71.4%	70.6%
65歳以上	20.4%	19.9%	18.5%	18.0%	18.3%	19.1%	18.8%
うち75歳以上	9.9%	10.2%	10.5%	9.9%	9.0%	8.6%	10.0%

パターン2 (低位)



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2060年
0歳～14歳	8.7%	9.6%	10.4%	10.3%	9.3%	8.3%	9.6%
15歳～64歳	70.9%	69.6%	69.1%	68.7%	68.2%	66.8%	58.5%
65歳以上	20.4%	20.8%	20.5%	21.0%	22.5%	24.9%	31.9%
うち75歳以上	9.9%	10.7%	11.8%	11.8%	11.4%	11.6%	18.0%

パターン3（中位）



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2060年
0歳～14歳	8.7%	9.5%	10.0%	10.0%	9.4%	8.9%	10.3%
15歳～64歳	70.9%	70.2%	70.6%	70.7%	70.5%	69.6%	66.1%
65歳以上	20.4%	20.4%	19.4%	19.3%	20.1%	21.5%	23.5%
うち75歳以上	9.9%	10.5%	11.1%	10.7%	10.0%	9.8%	12.9%